

# アブラム・レイトブラト講演会

— 書物の専門家が、四つの大学を駆け巡る

使用言語：ロシア語

## Program

2010年12月10日(金)・15日(水)

伝記のナラティブ構築 — 異端の作家ファデー・ブルガーリンを中心に

10日(金)

18:00~20:00,  
早稲田大学現代政治経済研究所会議室  
(早稲田キャンパス1号館2階)  
[東京都新宿区西早稲田1丁目6-1]

早稲田大学会場のみ通訳あり

15日(水)

17:00~19:00,  
北海道大学スラブ研究センター 4階 401号室  
[札幌市北区北9条西7丁目]

2010年12月13日(月)・17日(金)

社会制度としてのロシア文学 — 作者・読者と読書の社会史—

13日(月)

17:30~19:30,  
大学コンソーシアム大阪ルームG  
[大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階 キャンパスポート大阪]

17日(金)

15:00~18:30,  
東京大学文学部3号館7階スラヴ文学研究室  
[東京都文京区本郷7-3-1]

17日は講演会にあわせて、若手日本人研究者の参加するシンポジウムを開催いたします。ぜひご参加ください。

## Profile

### 講演者紹介

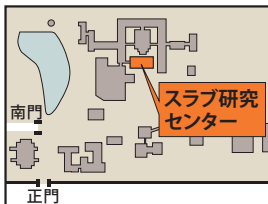
読書や書物のあり方に関する研究を中心に、文化社会学や読書論の第一人者として知られる。ロシア国立芸術図書館勤務。文芸誌『新文学時評HJIO』編集委員。『ボヴァからバリモントまで。ロシア19世紀後半の読書の歴史』『プーシキンはいかにして天才とされたか』『ファデー・ブルガーリンによる第三官房宛の手紙と密告文書』など著書、論文多数。

## アクセス

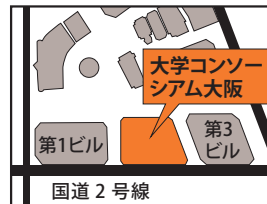
●早稲田大学



●北海道大学



●コンソーシアム大阪



●東京大学



主催

科研費研究プロジェクト

「グローバル化時代における文化的アイデンティティと新たな世界文学カノンの形成」

共催

新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」、早稲田大学ロシア研究所

連絡

巽由樹子(東京大学・学術振興会特別研究員)

【E-mail】sneg7@hotmail.com